事業概要

十勝総合振興局帯広建設管理部では、平成28年8月の連続台風等による豪雨災害や土砂災害、過去の地震や火山災害などを教訓として、地域住民にとって安全・安心な暮らしを実感できる「災害に強い地域づくり」に向けた取組や、基幹産業である農業や“食”、“観光”を支えるため、「食料供給と産業を支える交通ネットワーク形成」などの取組を進めています。

治水事業では、多様な関係者の方々との連携強化を図りながら、河道掘削や堤防の整備、ダム再生、水位計の設置といったハード・ソフト両面からの治水・土砂災害対策を効果的に進めるほか、道路事業では、北海道横断自動車道、帯広広尾自動車道といった高規格道路の整備にあわせたICアクセス道路や、帯広圏域環状などの幹線道路ネットワークの整備を進めるほか、ナショナルサイクルルートに指定された「トカプチ400」の魅力向上のため、自転車走行環境の向上にも取り組んでまいります。

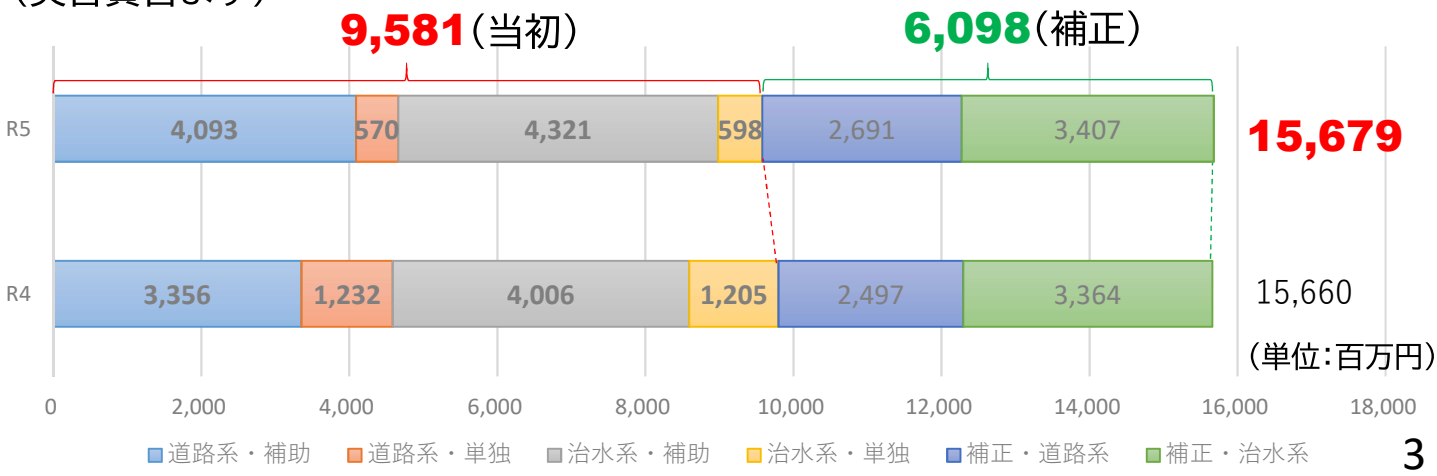
また、「ゼロカーボン行動　十勝宣言」に基づく様々な取組みを着実に実践し、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けたインフラ分野の脱炭素化にも対応してまいります。

平成２８年８月連続台風等による被災箇所に係る復旧状況（ペケレベツ川）

平成28年8月の連続台風等による被災箇所については、ペケレベツ川（清水町）における護岸等の工事の令和3年度完成をもって、すべての復旧工事が完了しました。

予算

令和5（2023）年度予算は、前年度補正と合わせて、約157億円（対前年比1.00）であり、その事業別内訳は、道路系が約74億円、治水系が約84億円となっています。（災害費含まず）



主な道路・街路事業

①幕別帯広芽室線（幕別町）
圏域環状道路として、札内市街地を迂回するバイパス道路整備

②熊牛御影線（芽室町・清水町）
十勝橋（十勝川）老朽更新
令和2年秋、新橋（389.8m）に着手

③上札内帯広線（中札内村）
上札内橋（札内川）老朽更新
令和2年秋、新橋（398.5m）に着手

④弥生通（帯広市）
街路事業による無電柱化を推進

⑤モアショロ原野螺湾足寄（停）線（足寄町）
雌阿寒岳火山噴火時の避難道路として令和3年度から事業着手

⑥長流枝内木野（停）線（音更町）
（仮称）長流枝SICのアクセス道路として拡幅整備

⑦本別士幌線（本別町）
国道274号と道東道を結ぶ物流補完ルートとして拡幅整備

⑧幸徳大樹停車場線（大樹町）
国道236号と（仮称）大樹ICを結ぶアクセス道路として拡幅整備

⑨直別共栄線（浦幌町）
国道38号の補完ルートとして波返し擁壁等を整備

⑩直別共栄線（浦幌町）
国道38号の補完ルートとして線形改良による越波の回避